

病害虫発生予察情報 2月予報 概要版 (令和6年2月6日発表)

農業技術センター発生予察係 (病害虫防除所)

★気象の1か月予報 (令和6年2月1日 気象庁発表)

- ・気温は平年に比べて高い見込みです。
- ・降水量は平年並または多く、日照時間は平年に比べて少ない見込みです。

★2月の病害虫予報 注目ポイント！！

イチゴ ハダニ類・・・発生量：やや多



現在までの発生量は平年並ですが、一部でやや多い状態です。
発生が多くなると防除が困難になるので、早期防除に努めてください。
天敵を導入している場合は、天敵に影響の少ない農薬を散布してください。

施設果菜類 灰色かび病・・・発生量：並



現在までの発生量は平年並です。
施設内の湿度が高くなると発生しやすくなります。
今後、発生しやすい気象が予報されていますので、循環扇や暖房機等を用いた通風を行うなど、施設内の適切な湿度管理に努めて下さい。

【その他の病害虫】

作物名	病害虫名	発生量	特記事項
施設果菜類	コナジラミ類	並	現在までの発生量は平年並。 タバココナジラミは、ウイルスを伝搬するため、施設内に黄色粘着板を設置するなど、早期発見に努める。
トマト	疫病	並	現在までの発生量は平年並。 施設内の適切な湿度管理を行う。
キュウリ	べと病	並	現在までの発生量は平年並。 多湿管理下で発生量が増加するため、適切な湿度管理を行う。
キュウリ ・ イチゴ	うどんこ病	並	現在までの発生量は平年並。 多発してからの薬剤散布は効果が劣るので、発生を認めたら早めに防除する。
イチゴ	アブラムシ類	並	現在までの発生量は平年並。 発生が多くなると防除が困難となるため、早期発見・早期防除に努める。



詳しい予報、注意報、病害虫情報はこちらから
(病害虫発生予察情報一覧へリンク)